

いつも当社システムをご利用いただきありがとうございます。
今月分の請求書をご査収の程よろしくお願い申し上げます。

株式会社ユニコーン
大阪市中央区大手通 1-1-2
TEL.06-6943-4560 FAX.06-6920-5311

いつも大変お世話になっております。

春色きらめく三月がスタートし、暖かい陽の光につつまれて嬉しい今日この頃です。
皆さまはいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

今月は滋賀県の近江八幡へ知人の展覧会と観光に行ってきました。

大阪からJRで1時間半、近江八幡駅からバスに乗ってさらに10分ほどの場所にある、「日牟禮八幡宮」は古くから近江商人の信仰を集めており周辺が観光スポットになっています。八幡宮の裏の八幡山には安土時代の城址へはケーブルカーで登れます。旧市街地から琵琶湖へと続く水郷めぐりなども人気です。特に大阪の百貨店のお菓子売り場ではお馴染みのブランド「たねや」と「クラブハリエ」には、たくさんの方が訪れていました。

展覧会は「かわらミュージアム」という瓦工場跡地に建設されたとても素敵な美術館の展示室で開催されていました。知人の作品の中でも「護船観音菩薩」の絵に心惹かれ、すぐ近くにお寺があると聞き「妙法寺」を訪ねました。

西暦838年、最澄の弟子、慈覚大師(円仁)は遣唐使に加わり、中国に渡りました。帰航中、海上において嵐に遭遇しました。この時、円仁は天に向かって「無垢清浄光、慧日破諸闇、能伏災風火、普明照世間」の呪文を唱えたところ、たちまちこの観音様が空中に光を放って現れ、船を守り、黒雲は晴れて白日輝き、逆風が順風へと変わって、肥前の国松浦の岸(今の長崎県)に無事にたどり着きました。上陸後、船頭たちは海上に出現したこの観音様の尊像を作って欲しいと円仁をお願いをし、円仁は渚に乗り上げて大破した遣唐使船の船木を使って、この「護船観音」をお作りになりました。また「この観世音の御影を写し、封印して船の守りとした」。近江商人は八幡堀を活用し船で商品を運搬していたことから、商売繁盛、船の物流の守護として妙法寺に護船観音をお祀りしました。(妙法寺ホームページより抜粋)

近江商人は、北海道から九州まで日本海を船で物資を運んで商いをしていたそうですが、こんなに貴重な仏様を持ち帰ることができるほどの力を持っていたんですね。

近江商人といえば「三方よし」の精神「売り手よし・買い手よし・世間よし」…売り手と買い手がともに満足し、また社会貢献もできるのがよい商売であるという信条があるそうです。

何をもって「よし」とするかは、人それぞれの価値観があります。経済発展、沢山のお金、名誉、健康・・・それは何のために必要なのか？・・・その根本は「幸せに生きたい」という望みではないでしょうか。でも、お金だけでも、名誉だけでも、発展だけでも、健康だけでも「幸せにはなれない」ことは、このコロナ渦がきっかけで明白になったように思います。

パラダイムシフトという言葉を目にする機会も多くなりましたが、パラダイムシフトは、世界や社会の仕組みだけでなく、個人の内面にも起こり始めたように思います。

「自分にとっての幸せ」とは何なのだろうか？ そのために何が必要だと信じているのだろうか？ 本当に必要なものは何だろうか？ 古い概念や不要な信念を手放し、価値観を再構築し、個人の内面からシフトさせるタイミングのように思います。

社員一同、4月からも自分を幸せにして、お客様や世間にも幸せを還元できるような仕事をしていきたいと思っております。引き続きよろしくお願いいたします。

皆さまも素敵な春の日々を、心地よく健やかに過ごしてくださいませ。



日牟禮八幡宮



水郷めぐりの船をみているだけでも心がゆったりとします。



ほとりの桜が咲けばさらに美しい風景になることでしょう！



織田信長も町衆に交じって踊ったと伝わる“天下の奇祭”『左義長まつり』は3年ぶりに制限なしで開催されたそうです。

今月も最後まで読んで頂きまして、
ありがとうございました。
来月もよろしくお願いいたします。